良城

かわらばん

良城小 URL：http//www.yamaguchi-ygc.ed.jp/ryojo-e/

良　城　小　学　校
学校だより 10 月号
児 童 数 8 2 4 名
平成 29 年 9 月 21 日

良城だからこその秘伝の技の継承を 「良城しぐさ」

校長　増　野　淳　一

今、本校の昼や掃除、下校の放送時には次のようなアナウンスが流れています。

・給食に 感謝の声を 良城しぐさ

・あいさつは 人より先に 良城しぐさ

また、各校舎には、左のようなイラストが貼られています。

私は、朝、校門で見守りをしていますが、毎日が楽しくてたまりません。私の目を覗き込んで挨拶をする子、申し合わせたように元気な声で挨拶する二人組。毎朝、子どもたちから元気と笑顔をもらっています。

学校前の道路では、壁沿いに一列になって通行する子どもたち。給食室出口では、ぺこっと会釈をする６年生。休み時間終了の音楽が流れると我先に走って戻る子。毎朝、ピロティを黙々ときれいにしてくれる６年生。 良城小学校には、すてきな姿があふれています。これこそ良城小だからこその教育です。

しかし、良城小学校の児童は昔からずっとこのような姿であった訳ではありません。これらの姿は、教育・協育のたまものなのです。

十数年前。全国的に中学校の荒れが目立ち、市内の中学校も大変厳しい状況がありました。中学校の荒れの素因は、当然、小学校にもあったはずです。おそらく本校でも数々の問題があり、地域としても大変なご心痛をされていたことでしょう。

今の本校の児童の姿は、その頃から体を張りながら指導を積み上げてきた職員、保護者、地域の皆さんの協育の成果だと思います。当時の関係者の努力は並大抵ではなかったことでしょう。

本校には、その頃からの素晴らしい取組が今でも脈々と受け継がれています。私を含め、今年度着任した誰もが、その姿に驚きました。

しかし、これらの姿の維持は簡単ではありません。歴代の先生方が、全力で受け継いできたからこそ、今の姿があるのです。ここ数年で、多くの職員が入れ替わってきた今、大切なことは、この学校のよさを確実に継承していくことです。

そのためには、良城小の良さ、そして、それを支えてきた教育・協育を明確にしていく必要があると思います。伝統は曖昧なままでは、あっという間に廃れてしまいます。昔から伝統の裏には、「秘伝の技」があります。それを今一度明らかにして、継承していきたいと思います。良城小の児童のすてきな行動を「良城しぐさ」として取り出し、それを支える指導内容（秘伝の技）を明らかにして、全ての職員で日常的に行ってまいります。

現在、まずは教職員で良城しぐさを洗い出してみました。そして少しずつ、前述のようにイラスト化したり、俳句化したりして啓発を始めています。今後、児童にも直接働きかけるとともに、コミュニティ・スクールの取組の一環として、PTAの皆さんや地域の皆さんにも、参画してもらうことを考えています。そして、地域総出でできあがった良城しぐさを吉敷地域全体で共有し、みんなで力を合わせて継承してまいりましょう。